

平成30年10月1日開催 第6回県政ランチミーティングに寄せられた ご意見への対応状況について

1 開催概要

- ・開催日 平成30年10月1日(月) 12:00～13:00
- ・会場 県庁3階 第三応接室
- ・参加グループ 腎臓移植を広げる会
- ・懇談内容 腎臓移植を行うことへの意識変革について

2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

(1) 腎臓移植に関する正しい知識の普及について

(ご意見の概要)

県内には約5,200人の透析患者がおり、年間一人500万円の医療費がかかる。一方で移植は、治療後2～3年の数字だが、年160万円以下の医療費で済み、この差額は大きい。透析を行っている医師も、患者に移植という選択肢があることを、しっかりと説明してほしい。

また、透析以外の方法で治療している人たちにどうアプローチしていくのが課題。我々は医療の進歩とドナーの実態を困っている人に伝え、ドナーになってもいいという人を増やしていきたい。長野県の移植手術の事例は他県に比べて少ないが、移植は経費がかかり大変な手術が必要というイメージが先行し、正しい理解が進んでいないことが要因の一つだと思う。

(知事の発言)

行政として、もっと腎臓移植を普及啓発していかなければならないと思う。治療時に医師から透析と移植の選択肢を提示してもらうようにするとか、一般的な知識として移植という治療方法もあることを普及啓発していかなければならないと思う。

普及啓発の方法については、移植を説明するパンフレット等の作成や医療機関等の関係者との連携、健康づくりのシンポジウム等の場における周知など、県においても考えたい。

(ご意見等に対する対応状況)

医師からの選択肢提示については、平成30年度の診療報酬改定で加算の要件となり、今後、医師から説明されることが増えていくと考えています。

県としても、慢性腎不全等の治療方法の選択肢として、血液透析だけでなく先行的生体腎移植等があることなど、腎代替療法の選択肢の知識の普及に取り組んでまいります。

また、ドナーとなる県民へは、県内の関係団体が行う講演会等の活動を支援することにより、移植医療の正しい知識について普及啓発を行っていきます。

【担当課：健康福祉部 医療推進課】

3 問合せ先

企画振興部広報県民課県民の声係
電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp